

国道357号若松交差点の改良工事において、  
「見積りを活用する積算方式」「難工事指定」を試行します

記者発表資料

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいない理由により、入札のとりやめや不調となる工事が多発しています。

この理由の一つとして、標準的な積算と当該現場の見積り（実勢価格）に乖離が生じている場合が考えられることから、『見積りを活用する積算方式』を試行しています。

今回、千葉国道事務所では、「357号若松交差点改良工事」において『見積りを活用する積算方式』と『難工事指定』を試行します。

『見積りを活用する積算方式』

本工事は、交通量が多い交差点で現道上を規制しながらの工事であることから、施工に伴い作業効率が低下することが懸念されます。このため、入札参加者から見積りの提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映するものです。

見積りを求める工種は、過去の同種工事の実績により標準的な積算との剥離が予想される工種により選定しています。

『難工事指定』

本工事は、通常の工事と比較して施工条件が厳しく作業効率が悪い工事を一定以上の工事成績で完成させた場合に、「難工事施工実績評価対象工事（試行）」において、総合評価項目に「難工事施工実績あり」として加点対象とする「難工事指定」の試行対象工事とします。

平成 21 年 2月18日（水）

国土交通省 関東地方整備局 企画部 技術管理課・技術調査課  
千葉国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会  
千葉県政記者クラブ 千葉市政記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局

技術管理課 建設専門官 新井 正（電話048-600-1331）  
技術調査課 課長補佐 浅古 勝久（電話048-600-1332） } 見積もりを活用する  
積算方式について

千葉国道事務所 電話 043-287-0311（代）

副所長 箕作 光一（内線205）  
交通対策課長 岩崎 辰志（内線471） } 対象工事の内容につ  
いて

## 《見積りを活用する積算方式の工事概要》 ( 3 5 7 号若松交差点改良工事 )

- ( 1 ) 工 事 名 : 3 5 7 号若松交差点改良工事
- ( 2 ) 工事場所 : 千葉県船橋市若松 ~ 千葉県習志野市谷津
- ( 3 ) 工 期 : 契約の翌日から平成 2 2 年 1 月 2 9 日まで ( 予定 )
- ( 4 ) 入札方式 : 一般競争入札 総合評価落札方式 ( 標準 型 ) 施工体制確認型
- ( 5 ) 工事種別 : アスファルト舗装工事 ( A 等級 )

( 6 ) 工事内容 ( 概要 ) :

道路土工	1 式			
遮音壁工	1 式			
舗装工				
車道舗装工		8 , 0 0 0 m <sup>2</sup>		
切削オーバーレイ工	1 , 8 0 0 m <sup>2</sup>			
歩道舗装工	1 , 0 0 0 m <sup>2</sup>			
排水構造物工	1 式、縁石工	1 式、防護柵工	1 式	
標識工	1 式、道路付属物工	1 式、区画線工	1 式	
構造物撤去工	1 式			

( 7 ) 見積りの提出を求める工種

- ・直接工事費のうち、舗装工に係わるもの。
- ・共通仮設費のうち、運搬費 ( 質量 2 0 t 以上の建設機械の日々回送費 )

( 8 ) 見積の提出を求める理由

本工事は、交通量が多い国道 3 5 7 号の若松交差点交差点で渋滞対策を行う工事です。

施工にあたっては、現道上を交通規制し車道・歩道利用者への影響をできるだけ軽減しながらの施工が必要であり、また夜間での現道上の施工が中心となることから作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、「見積りを活用する積算方式」を試行するものです。

( 9 ) スケジュール

入札公告 : 平成 2 1 年 2 月 1 8 日

入 札 日 : 平成 2 1 年 3 月 1 7 日

( 10 ) その他

本工事は、競争参加資格確認申請書と見積書の提出期限及び提出方法が異なります。詳細については、入札公告及び入札説明書に記載しております。